

## 海外事務所 主な活動報告（令和 6 年 12 月）

## 《ワシントン州事務所》

（公財）国際農業者交流協会が主催する海外農業研修（2023（R5）年度米国コース）の研修生 27 名が 1 年間の研修を終え、在シアトル日本国総領事館で修了式が行われた。

研修生たちは、それぞれの生活や実習で、言葉や文化の違い等で困難に直面する場面もあったものの、無事に研修を終えることができたとのことで、皆とても充実した様子であった。

兵庫県出身者は 2 名参加しており、帰国後はこの経験を生かして進路を検討したいと話していた。

今年度の研修には、現在も兵庫県出身者がワシントン州内で実習を行っているため、当事務所としても、参加者が様々な経験を積み無事に研修を修了できるよう支援していきたい。



修了式の様子

## ＜海外農業研修修了式（2023（R5）年度米国コース）＞

- 日 程 2024（R6）年 12 月 16 日（月）
- 場 所 在シアトル日本国総領事館
- 参加者 海外農業研修生 27 名 等

## 《パリ事務所》

1999 年に発生したトルコ西部地震の被災地への兵庫県からの支援として、県民の皆様からいただいた義援金を基に創設された「ひょうごトルコ友愛基金」による主催で、淡路人形座トルコ公演を実施した。

同基金は、現地カウンターパート機関である土日基金とともに震災孤児への奨学金プロジェクトや防災教育普及プロジェクトを展開してきた。

2024 年は、同基金設立 25 周年及び日本トルコ外交関係樹立 100 周年の節目の年であることから、兵庫県とトルコの防災交流を広く PR するため、本県を代表する伝統芸能であり、海外公演や被災地慰問公演の実績が多数ある淡路人形座による公演が実現した。当事務所は主催者の一員として公演の企画・運営を行うとともに、伝統芸能の力を生かした心のケアや「防災文化」の醸成等について知見を深める防災交流等の実施を支援した。併せて、万博に合わせた観光 PR を行った。

## ＜淡路人形座トルコ公演＞

- 日 程 2024（R6）年 12 月 17 日（火）、19 日（木）
- 場 所 トルコ西部ブルサ県・ブルサ防災館、  
首都アンカラ・土日基金文化センター
- 来 場 数 ブルサ公演 行政関係者（ブルサ県副知事等）、  
教員・生徒等 約 200 名  
アンカラ公演 大使館・JICA 関係者、一般市民等  
約 300 名



アンカラ公演の様子

## 《香港経済交流事務所》

2006年に日豪友好30周年を記念し日本人とローカルコミュニティの交流を深めるため2019年まで毎年開催されてきたイベント「Matsuri Japan Festival in Sydney」が5年ぶりに開催された。

当事務所は、自治体国際化協会（CLAIR）シドニー事務所からお声掛けいただき、同事務所の出展ブース内にて観光PRを行った。

イベント会場の入口正面に設置されたブースには、当事務所のほか長野県事務所や石川県事務所も加わり、開会と同時に大勢の方が押し寄せ賑わった。家族が日本で暮らしている方や、日本で仕事やボランティアを探したい方などから観光以外の質問も多く受け、日豪の強いつながりと物理的な距離に比べて心の距離感の近さを感じた。

### <Matsuri Japan Festival in Sydney への出展>

- 日 程 2024（R6）年12月1日（日）
- 場 所 ウェントワースパーク・スポーツ・レッキング・コンプレックス（シドニー市内）
- 出 展 数 17団体  
（一般ブース：JNTO、CLAIR、自治体、企業等計10団体、  
飲食ブース：7団体）
- 来 場 数 約3千人（CLAIRブースへの来訪者も概ね同数と推計）



CLAIRシドニー事務所ブース内への出展